

の第二期生が晴れの卒業式を迎え「長より一人一人卒業証書を手渡さ」トラのかなでる「ほたるの光」と 二月二十三日、わが洛星高等学校 春の気配もまぢかに感じられる」た。 百十四名の卒業生は、ナドウ校一祝辞等の終つた後、洛星オーケス れ、握手をかわした。送辞、答辞

往まい進してくれることと信じて た。今後も後からたえまなく続く 々のよき先輩として活躍してくれ のうちに退場した。 後輩の為手本となるよう諸兄は勇 修めて多くの智と徳を積む一方我 年期に到るまで、母校洛星で学び 思えば六年間、少年時代より青

京都市北区小松原南町 TEL毎2334

記

念

号

いる。

進学したり、社会に出て実務にた

卒

業

からんことを在校生一同願つてや かし先知れない未知の世界へ勇気 をせおい何かとおちつかぬ日々を 新らたな段階への移行という雌役 今、卒業に際して、諸兄は次の 続けていることであろう。し でしよう。従つて皆さんが、たと た。皆さんのこれからの生活は、 ずさわつたりすることになりまし え朝授業に遅れたり、帽子を着用 異なるものとなります。そこには **台までの学園における生活と相当** 補導部とか担任教師の組織はない

思告がなくなるので、これからは 題されないかも知れません。 入し、カフエー遊んだりしても問 夜おそくまで出歩き、映飯館に出 いでしよう。例えば勉強を怠つて していなくても何等注意は受けな つまり、監督とか他からの指導

のであります。自分の肉体的な瞬 ありましよう。というのは、人間 もつのは或は自然な成り行きでも 手な欲望を抑えることは、決して い、そんな生活をしたいと望むも は努力することを苦しいことと思 人もあるかもしれません。 サイルやロケットにたとえること は非常な力がいります。人間はミ 簡単に出来ることではありません 問題はなくても、それがない場合 担導者が身近かに常にいる場合は 卒業後に多少そのような気持を

由な生活に真の幸福があると思う 者もあるでしよう。このような自 自由な勝手な生活が出来ると思う 重いミサイルが、地球の引力に打 もできましよう。何百トンという 0

その心をも豊かにしなければなり

ます。人間は頭を飾るだけでなく 会生活を忘れてしまうことであり

0 0 0

すべきであります。

社会の福祉を培進するように努力 他の人々と仲よく協力して、その の社会に生きてゆくものですから にません。人間は他人と共に一定

る大学に進んでも世捨人のような して下さい。よく専門の学問を研 没世間的な人間にならないように どうか皆さん研究の府といわれ

であります。ある芸術家が芸術は 一力の結果にまたねばならないもの 社会その国に属する人々各自の努 はありません。社会の進歩は自然 死の瞬間まで精進と申しましたが 標は無為にして達せられるととで ープに加わって下さい。 ような全く健全な活動をするグル までもありませんが、同時に音楽 死しなければならないことは申す に達成されるものではなく、その いか、スポーツとか登山とかいう よい日本の社会を作るという目

-ツ シーズン來る スポ

遊んだりするような肉体的欲望を も食べたり、飲んだり、眠つたり はいりません。人間生活において にもどるためには全然エネルギー でしよう。ところが、それが地球

ありません。しかし偉大な研究事 元すためには全然努力は必要では

精神的エネルギーが必要である

毎日を送るならば、精神が窒息し 一力の生活をせずただ勝子さままな

又それを期待しておられるのであ

で、人格として死んでしまうもの

滅するものであるのと同様に、努 は呼吸しなければ、その身体が死 気を起すものであります。人間 加えて退屈という一種の精神的病 は、まず身体を害するが、それに 通り不規則なわがまま勝手な生活

よって、社会全体、

健全なものになるのであります。

天主様は人間にそのことを望み、

一な人間となるよう努力するととに す。各自がたえずよい社会入健全 まととに味わうべき名言でありま

て皆さんは、打ち上げられたミー

どうか皆さん洛星での規則正し

本学園における努力の結果によ一であります。

ることか、皆さんは承知している

ります……」と、この俳優がいう

の結果身体が不健康になりつつあ ようになりました。不規則な生活一 何と尨大なエネルギーが必要であ

ら勝つて、一時間にいく万キロメ

トルの速力に達するためには、

大勉强いたし ます

-条西入·洛星南

御卒

物 築 金 台 ・文 化 所 用

人生が退屈にその代り思われる一度や自由主義の態度は時代と共に ととは問題ではありません。その されるかもしれませんが、そんな 変つて、いつか今新奇であつたも ような行過ぎたアプレゲールの態 皆さんが本学園で身につけた礼儀 なくなつてくるでしよう。しかし のが時代おくれとなって顧みられ 砂中になってよい意味における社 ますから決して過ぎ去るものでは 作法や他の徳は、永久にかがやく ついてであります。それは勉強に 人間の本性にもとつくものであり さらに附営したいことは勉強に 大阪ガス指定 ガス工事設計見積

大阪ガス代理店

西 (44) 7 E L 2



皆さんは洛星を卒業して大学へ サイルのように高い所にあがつた

ました。「僕は有名な俳優になつ

お金がはいるようになりましたが て、おかげで使い途にとまる程の 名な映画俳優の面白い言葉を読み

ちるミサイルのように、わがまま

つい最近私は英字新聞に若い有

につけたとしても、身近かに指導

者がいなくなるために、地球に落一などによい習慣を身につけた者で としても、つまり立派な習慣を身一自由を乱用しないで下さい。皆さ な生活へもどる可能性がないとも一のような生活態度や物の考え方な ない連中の中にもつていくと、

一あるととを忘れないで下さい。そ 式とか時代おくれとか物わらいに んは本学園で礼儀作法や言葉使い どをアプレゲール的な全然規律の

日立家庭電気代理店

い生活から離れて、新らたに得た

明につる問題ではない。

主張

第

期卒業生

成しているのだいら、学校の混乱

の面その他の面に於て一行程を形

学校の中での歩みは苦しかつたに 名だけである。それだけに彼等の

学校入学希望者がおしかけ、実に

校を去り行き、代りに良き後輩を

本校に入れた。彼然はこれから別

の社会へと扱って行くのである。

しかし被等の心が幣に本校に宿り

々の心中なのだ。彼等は自らは本

を受経っろと、四百四十一名の中

一方、彼等の残して行つた利点に卒業してもらいたい。とれが我

我校では中学と高校とが学業

卒業式と中学校の人学試験とであ

る。彼等の先輩は一期生の八十八

校は名誉と共に実質性を認められ

た。

としている。 すなわち第二期生の ら忙しい時期がようやく過ぎよう

例年通り学校の混乱ともいうべ

**沁んで来た我々の先輩である。彼** 

があらゆることに成功してほしい

等が大学に多く入れば入るほど本という気持は後期の願いであるの

れを見てどんなにほっとしたこと

良き後輩が出来た。な常生もこ

であろう。水業生は何もい既せず

法になる的法的一位、一大校を

第一四年八年前 三八江以前

会って行くのであろうか。性等は一般いない。しかし彼等が全国の大三・一倍強という商学を表した。

学に多く入ればごれだけ何かしら

伝統というものである。 在何物がを残した。これは本校の

がはいづれた大学を目ざして

業することでなった。彼等の金部

業することとなった。 彼等の全部 るべきだ。 変数が発酵びをもつてむかえ 若しい歩気が辿してここに無事率 我々は彼等を構びをもつてむかえ

い。彼等が何立来日の浅い学校で素晴しい後頭であることだろう。

後環に安心原と、それに作つて墨。表言れ首四十四名が合格した。我してくら後娘で立派に育てあげる

試験の結果は去る二月十七日に公

生に感謝と解びを設わし、又入学

で離れぬように上願いたい。

受験者百名に聞く

〇誰にすすめられで洛星をえらびましたか

1,1

iM

父先自

むや終

先 自 分 で 親 友 近 所 の 人 父兄、先生両方 〇 算数の口頭試問について

むずかし やさし 普

○関語の口頭試問について ずかし

4 U

のが少々気にか う答えがあつた 44名

22名 21名 5名

4名2名2名

72% 10名

68名

力すべきだ。し 上げるために努

に帰ねた時に、 かし、或る父兄

洛星を選んだ理

校創立以来の声楽である。きつと

こと名約束したい。

は我さに無限し難いほどの精神的 の後輩というもりである。々は尊

概とがしみつけられるにもがいな

は的な物を残った。これは多く

3

限りである。 まつていらいの受験者数で、四四一名の受験者に対して、先生手伝いの生徒一間皆んな汗 ることにする。洛泉の評判は入学試験の時に尋ねたせいか、大変上々であった。癖ばしい ダクであつた。そこで本号は、洛星中学校入学試験風景と、講覧や芝生の所で、心配そう に待つている父兄を色々と尋ねまわつて明言入れた各種についての色々の事をお知らせす 去る二月九日(月)から二月十五日迄洛星中学校入学試験が行われた。本年は本校はじ

名、競争が三・一倍勢である。寒一である。 いう悪い天候の中を、父兄につき 々とした講覧に約千人もの人々が一受験生達は昨日の下郷備で学校 きた。本年は受験生全部で四四一一約五百名の受験者に汗ダクの感じ そわれた受験者が続々と集まって 二月九日、月曜日、景時々雨と一とに壮観である。 先生方もみな真剣なおももちで、 学校の内部はまさに受験気分、

不安そうに待つているのは、まこ一の内部をよく心得ているせいか、 あまり不安そう

ての受験で、試 い。又、はじめ ラカードの前に の父兄を残して のよいよい記録 れないが、さそ らないのかもし 輸いとわざ湿知 な倒はみられな 集つて、各々の 数室へ導かれて 受験生選は各プ の口頭試問も仲々難問らしく、受 々いそがしそうだ。理科と社会科 やら、控範へ、れてゆくやら、仲 れ、さそうにすわつている。手伝 の高一諸君が、各々教室の前へ順 理科と社会科の二頭試問、平伝い 間がはじまるわけである。本日は一んだかりということを受験生質名 兄選も心配そうに講覚で円くなつ いも、受験生を促所へつれてゆく 験生の顔も養りがちであつた。父 さて第二日目、本日から口頭試 | 間と / 誰にすすめられて洛星を選

まるらしい。五ある。試みに国間と拯救の口切い 能テストがはじ一下の受験生選は無邪気そのもので 間は関語と原数である。控室や原 てしやべつておられた。 統いて第三百目、本日の口頭試 こと等忘れてしまつた様な有様だ

呼ばれている知 よ為建プストと いつたいよい

まつた受動権である。 い。今までの笑い顔も返上してし一十時半の洛星テ百名もの受験者に各教室は一つは一とに決定して、

りようである。さて洛星テスト 一骨を折つてした。 頭試問始まる

にもびつくりしてまうほどの変わ

れをなして、後 い顔、我々恐 みてもとても歌 ストの終了を特 の間にというと 二日あるからそ としたが、踏を 兄への質問へと がら講性へとな まつと、我なは きあげ、さて父 門場をにらみな とと類は、は てこらをうろつ とりかかろう

本紙のカメラマンのフラッシュ一つて退放した。なんといっても新の火まわりでしゃべておられる父 米記者共、これだけの取材に大変 兄達に色々と落星のことについて じ」等にわけて尋ねてみた。 「校外での態度」「校舎内の娘 「格星の良いと思われるところ」 ます「特別の良いと思われると

> 三年間を通じて実に二四六隻の日 の知つている所であるが、 を蒙つていることはすべて勝君達 を設定し、そのため日本が不利益

つたのと同様原数が相当難問だつ に綴ねてみた。(別表参照)どう てまるで、試験を受けにきている INGONというゲームをみんな はおとなしかつた受験生産もプロ 盛へとだんだん集つてくる。最初 すぎるりの声も聞かれた。さて、 た様だ。国語においてはかやさし も今年は去年の理科がむずかしか ではじめてからは興奮してしまつ 力よりも上だから。」「大層しつ 又教育方針が気にいつた。」とい けがよいから。」等々大層おほめ われた方がいたし、又「公立の学 置きして「学校の環境が良いし、 勉強できない人には無理な学校 け参うけてもらいたい、一等とい う変わつた答もあった。けれども ひ朝だから、との学校でよいしつ 「私は大阪から来ました」。と前 一方「能力のある人にはむくが、 され、その漁民達の多くが今尚極 本漁船が韓国警備船によつて捕獲

で掃除もいきと

さて、正而玄関のひなたや諸堂一は我々の日頃の掃除のたまもの だ。」という答もあつた。 にあずかつた。又「長男であるが」ととになり非常に意大な問題なの さて次は「校舎内の感じ」これ 一ど多いのであるが、この漁場を失 チ、サバ等が多くとくにサバは世 この

非

ライン

の中
には、

タラ、

グ |いうのが大部分の方の意見であつ|に質問をしむけたのか、洛里の うことは日本漁民の生活権を失う 界の三大漁場の一つといわれるほ 国に抑留されているのである。又 た。又「校外の態度」について一評判は絶対的であった。去年より 出版本会会の開始を含む相談を含むを開始を含むを開始を含むる問題を含むる問題を含むる問題を含める問題を含める問題を含める問題を含める問題を含める のは、在日朝鮮人の北鮮帰国に関 抑脅漁民を永久に人質にするなど 当止木二三天)

といている」と「か又戮々が、良い答を得るよう」だろうか。 我々はもつと、もつと つた。入学試験の際質問のせい 々にとつて耳の痛いお答えであ がよい」「大変網稿」等少々我一れは我々洛星の上級生諸兄のおか 「大変学生らじい」「行儀

正木時評 の焦心となっていた旨 あけるには<br />
話が少し古<br />
、<br />
これは<br />
遅まきながらわが<br />
国が人<br />
い問題なのである。<br />
叉日本漁船を くなつてしまつたが、 河間にかり前に無風

つてとりあげられ、自民・社会両

道的見地から居住地の自由選択と

今後
星
す
ま
す
泊
害
さ
れ
る
と
し
た
ら

四千隻に上る日本漁民が死活問題

にさらされることになるのである

冢

いう国際的に認められた原則に則

の殆んどすべてといってもよい位 まで実にさまざまの問題が起って 又感情的政策であつたように

ていたのは国際法上明らかに違法 思われる。中でも特に問題となつうというのである。所でこの「軍 その政策は余りにも無勢であつた 型船を出す場合には、その行為に 本に対してとつて来た政策は、そこの主なものをとりあげて見ると 来たが、韓国政府が今日までに日<br />
な通告をして来たのである。次に

日韓問題については今日に至るの模拠もない政治的意図から馬鹿 **陰問題について簡単に 第一致の措置なのである。しかし** げた不満意思を表明し誠に不模当 大結果」とは何を意味するのかと 対しでは「軍大結果」を招くだろよいのである。李外交は「理」の 先づ第一、もし日本が北鮮への帰 腎国政府は日本の決定に対して何 された通りの外交を進めて行けば からあくまでも国際法上の人道主 如何なる通告をして来ようとも、 いいなりになる必要はさらにない である。この無理押し外交が通っ 外交ではなく「無理」押しの外交 義的原則を貫き通し、閣議で決定 を推し進めて行つているのである 日本は今、道理にかなった外交 しかしこんどの場合航国政府が

日韓 れ、ひつこむよう T,

場にはしての問

してれを例る漁

である本ライン

題であつた。

韓国政府が挙ライン

いうと、外交的表現から推せば「ならないのである。 所でこんどの問題の起りという 海を無視した違法行為であるのに こと、 幾ら脳なし外交であつても 対に許せぬ不法言辞であるといえ、字国際委員会の活動によつて具体 といつていることである。これは 戦争するで」という意思表示なの 例え欧畷の言葉であるこしても絶 今後ますまず日本漁船を迫害する 日本人漁夫の送還を永久に打切り しなければならないことは、柳留 われる。所がこの通告の中で江目 た只のおどし文句にすきないと思 恐らくはそとまでは考えずにいっ いつたのだとすれば誠に脳のない であるが、もしもこれを真意から よう、李ラインの設定でさえら公 な外交的解決をするということは て欲しいものである。 的解決策が功を奏するようであつ てこの北鮮帰還問題を考えて欲し 決するためなのである。 慮や圧力を排して、帰国自由の原 会に依頼するのは一切の政治的著 望者の個別調査を赤十字国所委員 念を尊重し、平穏な機能でもつ 則によつて帰国問題を人道的に解 望めそうにないが、政府が帰国希 いと思うのである。又、この赤十 今、韓国政府と日本政府が正常 韓国政府は国際社会に於ける通 (社会料担

しもまして評判は又よくなつた。こ けであろうが、中には「世間は甘 い」等と考える者もいるではない 洛星という名を (右)控室の受験生達 (左)口頭試問を受ける (上)洛星テストを受け る受験生達 写真説明

るから」。とい 備万端整つてい 由として、「飲

新学期の顕進のために III A 斉藤登史夫まで

文房具・パン類・菓子 ご利用をお待ちしております

風

星 中 学 校 横 祝

卒

めん類・丼・パン類・菓子 ま ス

道理が曲げら

紅 梅 野 北

どうしてこううるさいのでしょう でしよう。しかし僕達のクラスは

はない。

調子であるから睨まれるのも無理 よけいうるさい。とまあ、こんな をする。勉強している者がおこる

中学校から転校して来た男でありターというかわいい子である。と

M・二・Cの巻

う。明るく元気でのびのびしてい

た服部先生を改めて紹介しましよ

を見る

体育館)

ます。次は福渓君、この人はレーの小泉君は足の思い片岡君を毎日

なんとおつしやる方は、まあない てどらんなさい。「よい組です」

だいたい授業中の態度があまりよ

生を担当しておられる先生に尋ね

つようなものである。一度、2年

ている者が勉強している者の邪魔

している。しかしそこでだ、暴れ

口や。」「また2・〇か。」とい

きにつけ何をいつても「そら2・

習きましよう。 まあ、 なんとい

先ず最初に我がクラスの特徴を がやりにくい。」とおつしゃるの

君も沢山の歌を知つていてよく歌

よい委員である。

一類君、小泉君は御存知の方も

れの委員の役がらピッタリ合った 君、三宅君、梅田君俗は、それぞ 又僕等のクラスの執行委員の山口 る神様(?)」とでもいうかな。

いえば清水岩は天才的といいまし いうような陽気な男である。歌と

ようか、とても上手です。又花谷

っても諸先生方に睨まれているこ

も、とてもやかましい。ある者は である。又、授業前の休憩時間で

歌を歌つている。ある者はゴムを

つたか二学期だつたか範囲のあるあるだろうが二人共アダナをシス

うるさい学級

)歌とはかんけいなく、一学期だ います。吉田君、こいつは(失礼

飛ばしている。又一部では勉強を

とは確かです。よしにつけ、悪し

(3)

その後、なかなか元に戻らない。 それが少しぐらいならよいのだが

こんな状態なので先生方は「授業

皆がこれにつられてさわぐ。まあ

せられるように、

とても暴れるの

さん御存知の会社の社長の息子様

かんしんな子であります。これは

ら「シラン」の一点ばり。まあと

サカ自動車株式会社」というみな り、そして家に送り迎えしている ス工場の息子様、又条田君は「ヤ でにおうて階段を登つたり下りた

のことであるが、前文からもさつ

次にいいたいのは、クラスの皆

体憩か休憩でないか分らない。し である。五分間の休憩時間なんて

かし、こんな奴等でも独りばつち

ラスには京都市でない所、すなわ

君

「クラス全員が励まし合う」とい

最後に僕等のグラスのよい点は

立派なるとであります。

V

ち京都府……といった所から通学 くの愉快な諸君がいる。

である。みなさんせいぜい御利用 誰が見ても聞いてもはほえましい

の程、御顧いいたします。我がク ことである。その他上村君、

て優勝したが本年は決勝で惜しくも第二

程クがバスワークにコンピネーシ 於て懸念されたが、練習最豊富洛 出場で立命館高クに比べ精神面に

、戦評」沿星グは全員が中三の

現われた一戦。八条クがいかにキ

「戦評」実力がそのまま得点に

HB FW

宮山城田

広田橋四機局 末岸大大加豐

> まま、互格に前半登終了した。 ルを決め、全くシーソーゲームの タイムアップ前、1分置きにゴー で反撃に出た平安会18分、19分と

は「コンチワ先生」はじめての市

天気であつたが、新米記者共二人

あいにく今にも泣きだしそう

外進出に、胸をわくわくざせなか

ームであり、パスワーかとはスクリ

ター戦となった。体力の平安会、

屋クは18分まで決定的なポイント 平安会が、押し気味で、<br />
対する洛

う関散とした駅でおりた。そこか

ら又十分程電車線路に沿つて来た

「戦評」 昭光 段とさえ、ナイ

ふさわしい熟戦か展開された。 技術の洛星クと共に決勝の対戦に ープ力があつても矢張りチームゲ

FB

нв

FW

**社安会** 

の豊島(問志社大)が8分に相手

から、非常に待週の悪い支線字治

線に約一時間ゆられゆられてやつ

と宇治の一つてまえの三室口とい

こみ式にし、それだけ出た部分を

さいので、けた箱や傘入れははめ **杷てるようにし又、筒が非常に小** けをつくつて外で雨がかからずに ら宇治へと帰りを急がれる本部先

だつたそうだ。まず玄関には雨よ

坪という家を生かすかということ 考えたのはいかにしてこの狭い八 もあのアクセントには弱い)まず ントできりはじめられた。 計の苦心談から例の独特のアクセ かしてまつて拝聴していると、

されての結婚。そんなに早く結婚

の出身で、近畿大学を二年で中退 名前は「忠美子」。そして同じ島 て奥ざんのことを契ねてみた。

生にくつついていつた。四条京阪

後半に入るや洛星クOB唯一人

バックスの前からダッシュして左

コーナーに決めた後、体力をもつ

シー 000020618313241 得点 00011411089

田城広西田橋藤 緊岩末人差加 нв

クシー

77-1-18-10033529-221-421

田広藤四橋田 栗宋加大大岸

得点000004220191

COOOCIOMON 32

得点1200021028611

計が命館高ク

星8(7-2)9 クラブ

クラブ

7 16(8-10)1 クラブ

第

[1] 回 回

紫郊クラブ平安クラブ

浴 銅 洛

星 鴕 315

条 条

を切り出されたのでは配着の面目 切り出された。(先生の方から話 ので、まず先生の方から家の話を

丸つぶれーまで第一失敗)。さて

いて、もじもじしつばなしだつた うか、どうしようかと下ばかりむ

流通がとてもよく、夏は凉しく、 ちやんとあけてあるので、空気の タンの片流れ、又所々に空気穴が

とのことだ。

(まととにおんてと

冬は啜つたかそうだ。本当に細か

地京都の京大に入学されて理学部 出である)さてそれであこかれの さていよいよここから日本本土推

在にいたるのである。

次にもつ一度勇気をふりしば

の紹介で三十二年洛星へこられ現 植物科を卒業。それから村田神父 第

洛星クラブ

同志社大学

回数

順位

般

男

Ŧ

中学男子

優

優

勝

准優勝 八 ▽準次勝

般男子の部

いすぎたため、反撃のチャンスも

自域の形となってしまった。

第

Ξ

Ψ.

安

会将星クラブ

深 八

ヨンにものをいわせ、前半一分、 刀強い速攻で立命館高クを一方的 よくFW岸田を有効に生かし、H 2分、3分と続けさまに得点を決 よぐるしいメンバーチエンジで**、** ハツクス陣で攻撃するといった目 D来広、FB岩城の加点もあつて 後半も余有をもつた攻撃で順当に 利をおさめた。洛星クはオール 前半にして7ー2と引き離し の中20本までをはばみ、一点に押 によって、八条クのシュート21本 ーンプレイの相異が得点にあらわ えたのは素晴らしく、自らも得点 するという好判断で彼の独培場と れていた。特にGK小宮山の好守

W岸田が先取得点をあげ、 その後

前半2分、洛星クは速攻からド

力強さがほしく思われた。 の動きで、精彩を欠き、今一歩の がなく、シュートの感を失つたか

> 畑のまん中に赤いトタン屋根、ク 方へ戻ると、小高くなつている茶

> > だ

空間利用に大いに頭を強かせたそ 書頭の本だなにして、という様な

る。

その他にも随所に色々な工夫

風呂もあるし、何でもそろつてい つた。さてさて順々にみていくと い所まで気がついていておそれい

ると目はくりでいこして、顔には

である。我々の観察(失礼)によ

をみたいといったからとの事。当 んのお父さんが病気で早く孫の したのは、と尋ねてみると、奥ブ

はやりの学生結婚をしたわけ

少々そばかすがあつて、なかなか

さて色々お話ししていると当家の

一粒種の広樹料がやつてきた。当

あいきようのある残さんであった

しかし8分に左コーナーのフリ

八坪の家がみえてきた。これが我

一部屋を出てあたりをみまわして

さて家の中見学と思つてちよつ

てあれば結局十二

「好位の広さを使

がみられ、これだけうまく利用し

用していることになるなと、記者

共勝手な想像をした。さて路着い

年二才七ケ月、写真でみるよう

家庭も勿論坊や中心で、先生も仲

先生に似て非常に可愛い子である

にいれてもいたくないというよう

々家ではやさしく、切やを目の中

な可愛がり方で、まことに平和子

ム色のモルタル途で囲まれた

▽决 勝 り、洛星ク陣を破り得ず完敗した ゴール前のバスワークに無理があ いう試合であつた。 八条クも後半よく喰い下つたが

平安会 11 (6-3 9 光星クラ

パスワーク思く余りにも得点に走

とれに対し立命館高クのFWは

ういう所があつてとそ<br />
我がクラス<br />
している生徒が八人程ある。<br />
数島 かに見えたが、17分、強引な突込 選ばれた。また16分にもCR大橋 を保ち、試合は洛星クのペースで のシュートが右サイドから成功し

ow 『イモ』「イボ」「オバチヤ みよう「オツクスOx」「カウC カ」とまあこんな闘子で四十八も ソ」「ヒゲ」チー」「エテ」「ロ ついております。ちよつとあげて う。我がクラスでは全員アダナが 誰がつけるのか知らないが、僕等 ライオン Lion」というのです。 が友服部君、その人のアダナは 続くんですからねえーそうそう我 ら、今度はアダナの語をしましよ さて、 「オイチ」「さきつぼ」「コ 先刻アダナの話が出たか

う。との三君は実によくしやべりる。羽田君、山口君は定ることを

え歌つていたらよいんだ」とでも すどく速い。 僕等のクラスの「走

よく暴れます。又中村君は「歌さ

生命とする男(?)のようでもの

君、中村君の三君を紹介しましよ

わりものすどい「ガリベン」であ 鬼頭君は上でも頭がよい。そのか 御哲労なことでござる。天目君、

か?じや次に個人々々を脱詞して

いきましよう。先ず大西君、鮫島

はいいというのじやないでしょう 君、吉田君等がそうである。全く

欄神面に於てよくそのハンデイ

キャップを克服して戦つた洛星クーの健斗は賞されてよい。 学 男 子

2 築 洛星5 (413) 18 至16 79 23 部 4

京

行点 0100145034165 シーのこののとうのはいので 5架

スで、コンデイションは時々小雨

中 学 駅 伝 ばちようとお世辞)さて屋根はト本当に便利そうに思える。〈こと

日本で勉強したいという気持から

生態命軍引ってこれを失破した

ちまち食堂とはやがわりしてすぐ

であった。朝起きると、寝室た

班食鑑 (ああなんとヤヤコシイ) 間は板の間で、居間兼寝室兼台所 みると、(それで十分です) 奥の

> そうだ、その島で小学校、高等小 りの沖バエラブ島で確声をあげた の所でである沖縄より二つ日本よ 十日、京都からは実に四日の行程 ら聞いていくと、昭和五年六月二 共第一問を発した。うなづきなが てきたところで「経歴は」と記者

> > のものの様に感じられた。

ベリ」という雑種の犬が一匹いる

食事ができるし、又ねとろびたい

と思う時にもすぐねころべれる。

心寺専門ー洛星のおなじみのコー 月髓一太梁(簡易裁判所前)一妙 多野)一広祝池一(釈迦堂)一波 なわれた。コースは、格星ー(字 が駅伝は二月七日(土) 昼から行 第一回中学校生徒会主催学級対一トップに立ち、二日を約五、 В 二区の三人の短者は足の傷をおか いてきて、選手も最も苦労した。 ふり始め、風も強く真正面から吹 トンを渡した。この頃から小雨が 米に引き離して第二区の珪溢にバ が 優 勝 卒

を抜き、二人をも抜くかと思われ 非常にピッチをあげて一〇、三人

たが、今までの差が大きすぎて迷 到着した。そしてこれから一口が Setile LA IO HA が段々でてきた。そして達しば四 二〇の順となって第五段終問門

股もなく勉強も十分できないので 干人に五十人の難関だったが、施 生の試験をつけた。との試験は三 琉大を二年で中退して、日本留学 は、大島高校、琉球大学へ進み、 くうを卒業し、終戦になりこんど を覚えたということだ。お忘れな 学校、実業学校(ここで大工仕事 にと、お礼をいつて失礼した。 したがあまりおそくならないうち ゆられるととを考えるとうながら つてしまつた。又一時間も簡単に である。 たこともろくにきけずに時間がた 合計三人と一匹が本部家の構成 どうも新米配省共で予定してい

り切りながら、終始と点のリード も12分、14分、と相手の追撃を振 そのまま打ちこんで成功、タイム 山の美技があつたにもかかわらずしぐに三昼位のベニヤ板で囲まれた しいシュートを右から逆のコーナ アップー分前にRW大西がむずか れたが、懸命の攻防も及ばず、逆 ースローを得て、ポイント大橋が 転され情敗した。 一に決め、攻撃に転するかと思わ 絡星クは守備の面ではGK小ぶ っても、もじもじしていると、す れた家だそうだ。(本部先生にそ 顔をみあわせた。さてこのこじん 先生自身が設計され建築に協力さ まりとした家は法年の夏休みに、 である。いよいよ我々は緊張して 々新米記者共のめざす戦場(?) んな瞬前があろうとは。)家へ入

昨年の前例があるだけに、平安会一た。それ以外にはやはりまだもう 聞くなった物電ごで帰けずりな点一家の中へ入ってから、なにしろは も今までのブレイーと遠つてやや一ろうとして?何も目につかない。 ややもろさが見えたようだつた。 て得点源が減り、また14分、16分 攻撃力の点で主軸大西が突き指し一応接間兼書疏(名前ばかりがいか 接戦しているだけに、気力の点で一うと壁にかけられている「祈る子 に得た2本の7米スローを失敗し一された。まず目につくものはよい めしいのではありませんどに過 」とでも題したいような絵であつ じめての事であるので何から聞こ

のクラスには年々、いや日々アダ ナがふえてくる。不思議だな? さて次には今もアダナをはなし 第十一回新人戦(同恋社・伏見 中

僕等にとつてはかけがえのないよ れは「短気」である。腹を立てた 偉大な欠点を持つておられる、そ て鉄棒もマラソンもなんでもやる 中 3- 0210005566 250 \*\* 得点 01100212292 星9 (5-2)

い先生である、しかし残念ながら

GK FB

GK FB нв

FW て寒く、最悪の状態であつた。ス がふり、真正面から風が吹きつけ

タートは一時四十分であつた。

第一区は予想通り三人西山と二

三区の関門にいず三人はいよいよ ーミングアツブをしていて、第 d

107

5

五十七分〇五秒

一位 二人 五十六分 王一秒

間が繰り上つたのを知らずに、

ウ

位 В

五十二分二十二秒

ろが三人の三区の連者は、出発時 してがんばつたが遂に一日の俊足 に抜かれて第三区に入つた。とと た。六年は一日、七年帰五年で に抜けなかつた。四位は三人が父 始んどゴール寸前に、一〇を抜い 一月七日中学歌伝 Aを扱いた一百がとびこんでき

(MI同村・藤沼に

弟である。二人共「先生、人間に

キクとイサムは黒人混血児の姉

としさに払きくずれ、そして大人

が切れてしまった。祖母はキクい

原先生の巻 厳しておられるようでとちらが気 ころは全然なくて、むしろ大変選<br />
| クラブ等で美声をはりあげている

笠原先生は普通の〃音楽の教師〃一 小笠原先生は親しみやすいセン オヤどうも

数師!なるものに出会ったが、小 せ。これは誰でもが認めることで一後半分は悪 男の先生の場合である。)という ある。今までに数多くの『音楽の のが相場である。ところが我々の て少しルオトコマエル(但これは ヒアノが上手、歌も上手、そうし 元生というものは、少し気が短く| とは少し違う。まず音楽を教える やや気どうたところがあり、 々にとつて うである。 しまつたよ はビアノが 口になって しかし我

ときたら全然下手だし、小笠原先 の毒になるくらいである。ピアノ

の虫が踊りだしそうだ。(ヘヘ… タナイノ)それにあの顔がルオト 生の歌つているのなど聞いては腹 コマエルだなんてトテモトテモ。 …専門は管楽器ですからね、シカ

というものは楽しい時間でありた 問題ではない。洛星は音楽学校で 上手だとか下手だとかいうことは 楽しいという者はあまりなかつた はないのであるから、音楽の時間 い。三年位前はまだ音楽の時間が まりこだわられないということで ある。唯少 先生は小さ なことがあ し気がかり

ていたら、この間も似たようなこ

とがあつたそうである。

ショバンは……」と一席ぶたれた

けられた。とたんにとめて「エー イニー神父さんがガラツと戸をあ

ということである。一度かと思つ

かせておられた時、例のデモンテ

にル軽音楽ルをかけて生徒達に聞

レコード観賞で正課を終つてあと そうであまりない。ただある時、 批評する向きもあるようであるが

との先生には多くの逸話があり

前回よりも、

やさしい様だから

今回は社会科担当の先生である

ひとつがん張つて考えて下さい。

処かで見たことのある顔だが・

隣のお父さんを見て考えた方が

日ざしを身体いつはいに受けてい

よくわかるかもしれない。

楊島天神の境内で、明るい冬の

る坊や、ハテ、誰だつたかな?何

し館力を考えたらどうですか」と

男前が聞いたら怒りますよ。オヤー今まで述べてきた通り大変好感の |択する時、その三分の二までが音 ある。今の高一が音楽と図画を選 のが外でもない小笠原先生なので いうことを我々に教えて下さった 。この〃音楽は楽しいものだれと 楽を選択したというのは、これを よく表わしている。 ところで小笠原先生の御性格は 持てる立派 な御性格で

たいていは自分のルドラ声ルに悲 **観していた。**ところが小笠原先生 ポンの折り目が三本線時によれば 四本線ということである。しかし一事実である。我々は拍手をもつて まけに髪の毛が行儀よくおさまつ も気になる具体的にいえば、先生 ていることが誠多にないこと、ズ の肩はいつもフケでいつばい、お ある。大変結構なのであるがどう が一歩一歩実現しかけているのも ークラブ建設……と、しかしそれ 分だとそうとうやつておられるの 相手はデモンテイニー神父と 星オーケストラ建設、大洛星グリ かもしれない。 先生の夢は本当に大きい。大浴

No.

る。ちよつとしたことでは絶対に

脚をたてない。
終つていてもほめ

を見ているとこちらも嬉しくなる いつもニコニコしていて、その餌 ているような感じがする。それに

間が楽しいという者が俄然ふえて

われるのなら又話は別である。

小笠原先生も、どうかこの洛星に 小笠原先生の活躍を見守ろう。又

それと共にもつ一つ決して忘れ一長くいて、新しく入学する新入生

きた。「音楽なんてツマラン」な

が浴星に来られてから、音楽の時とれが芸術家の所謂が正装がとい

上我々住徒に大変良い感じを

小笠先生はこれと全く正反対であ

3

子)という十二字の少女とイサム 児として生まれたキク(高橋恵美 榜を」と願う日本三大巨匠の一人 てあまして∥どこかへ行つてしま その弟とが、田舎の祖母(北林谷 つて映画化したものである。 今井正監督が水木洋子の脚本をも (奥の山ジョージ)という九才の 不率にも黒人と日本女性の混血 のもとで育てられていく物語 「無人混血児にもつと暖い気 つている。ある時祖母はキクをも 或る日イサムは汽車にのつて、泣 ず人からからかわれてあばれまわ つたが、一人残つたキクは相変ら き叫びながら連れて行かれてしま 縁組でアメリカへ送る決心をした え』といつてしまう。その夜の閉 を見て、祖母は遂にイサムを養子 け方キクは納屋で首を吊つたが縦

のもとで養育されるようになるが 年少女である。二人共田舎の祖母 べ。」等と聞くとても無邪気な少 白いのと黒いのとどうしてあるだ の子供達にからかわれて育つ二人
うだ(大東映画作品・松竹配給) になつてしまう。「黒んば」と村 何かにつけて村人の嫌悪の対象
又クランク開始から三ケ月間、毎 日彼女達と生活を共にしているそ 探し出すために全国を歩きまわり てやるのだつた。 今井監督は昨年五月からキクを

手腕』を持つておられることであ を受けるが、大層勝れた単行政的 先生から一見女性的な璀璨な感じ / だき、あわせて我々にもより楽し る。離が聞いても「上手なオーケ である。 く音楽を数えていただきたいもの

ていただき 新学期から働い

の腕である。運動会、文化祭から って来られたのも全く小笠原先生 て少ないであろう、あの〃洛星オ ストラですネ」という者がきわめ

局員募集

ーケストラルをあそこまでひつぱ

はては卒業式に至るまでことある

毎にあのオーケストラを引つばり

笠原先生の腕である。無論「もう少 出して活躍させておられるのも小

つてやり切れなくなつた時、すさ の純真な心が失われて来たような 必ず彼の強縮集をとり出して読ん 与えられた理性の価値がなくなっ でみるのた。彼は又掛いている。 み切つてこれはいかんと思う時、 とは欧が人間の皮を着て歩いてい

か見ていない大人の世界を自分は てしまいはしないか。表面だけし ゆる動物界に、ひとり人間だけに一 飾りだけに満足する、それでは全一 くままに行動し、そしてうわべの一

年前の冬の日に、北アルブス農島 ある。暗い夜に火を燃やす。人里 しいが、恐ろしい時は飾り気なし **程大ツベタ沢の雲崩に渋難散革し** に火を恐れ、神を信じ、そして行一 しみじみ祖先の事を思う。自分に 心に祖先が……。」 に祖先がよみがえつて来る。素質 は祖先の血が流れている。火の中 これは十九才の若さで今から八

になった奴女のために赤飯をたい 自分のことろが大きな壁にぶち当 た或る語友の手記の一節だ。僕は

気がして恐ろしい。子供の時にあ一 るだけではないか。本館のおもむ **瓔しても見当りそうにもない。町一** こがれていたような世界はどこを一 「大人の世界に入つて幼い時代

分る。「しかし……。」といつた 思つてとの空を眺めているだろう れた友もある。何処でそして何を は山ではなかつたろうか。山を離 はどんな世になつても、この美し んじやない。世の中だ。けれど後 君の心、俺には分る。君等が思い 友はこういつて涙を浮かべていた なんだもの!しかし……」一人の られるものか。あんなに美しい山 ・」今だつて忘れるものか。忘れ を正しく温かく育くんでくれたの 隨想 国語科担当

をはなれて唯一人で火をもやす時一て彼は山へ行つた。それは一見単 に恐ろしい。だから山は良いので一て精一杯の力で、清縄なその怒り て白鱈の頂僧に心をよせてからも一 を社会にたたきつけている。そし や一杯になってしまった。すさみ なる逃避のようにも見える。しか し彼は心から山を愛していた。 いのだ。」彼は一人の高校生とし 「白い雲の浮かぶ夏空に、そし

ない。美しいものはどとまでも美一なら今のまま大きくはなりたくな 「僕は山へ行く。山には虚飾が」批判もなし得ないが、これが真実

|しの山脐を続けた夏がもう来るじ | いつまでも自分の心の中にある。 われてくる。だからといつて彼は 生命のみそぎ場所……。」ここで 。守れ帰現、夜明けの箸だ。山は 君の心だけでも山へつれて行くよ やないか。山へ行とうよ。もう一 度ね、

鬼が行かないつたつて

低は という問いが実に空虚なものに思 はもつ「何故山へ登るのか」など

山にひきずられてはいない。落実一ではないように、単に内面的であ

現われる。歌わぬ詩人は真の詩人 事、覚大な事など卑福は常に外に あつた。「機嫌がよい事、丁寧な たのだ。そして彼は常に朝らかで は幸福を目分の内側に求めて行つ | 幸福にはなれないのである。 | 彼 そして幸福をして自分を幸福なら しめるように努力しなければ誰も

も美しすぎる。しかし美しいのが

行
こうと努力した。
それは余りに

何故悪いのだ。

に綴られた懐しい山旅の配録もは一ている。生きようとしてもがいて一はない。 鳥の歌うが如くおのずか う機とせ経つたろうか。アルバム | に自分の位置を確かめながら生き | るというような啤福は真の啤福で いる。「肉体小説も読んだし、哲」ら外に現れて他人をも幸福にする

加

地

安

れども、何気な芸後を向いた時、

を向いたのは、不心得であつたけ

卒業式中、この飯餚な式中に徐

卒業式に出席して

H·一年A組 迫田

敏爾

何人かの生徒を見た。相良教授の 型党前の小窓から卒業式を見下す

卒業式は見るものではない。まし 祝辞が述べられている時であつた

い夢だけは忘れない。もう春じや 切つた世と共に流されんとした僕 | 学の本も、そして自然科学の万へ | ものが真の幸福なのである。」と 幸福を武器として戦うもののみが 彼は全ゆる困難と戦うのである。 のものである。この幸福をもつて の幸福は彼の生命と同様に彼自身 しい。」とも書いている。そして ゆつくりと自分自身を眺めたい。 を考える必要がある。あせらず、 とつては更に一度自分というもの一聞えてくる。彼はとの言葉を彼の だと思われてくる。……今の僕に かる得たと思った事もやがて偽り。一丁家なこと、寛大なこと」という。一てや学職嬰かなる来答、神父、修 も足をつつこんだ。しばらくはつ 彼は常に幸福を求めていた。「彼 しばらく青空をみつめる時間が欲 一或いはそうかも知れぬ。しかし彼 思う。或る人は彼の態度を余りに お嬢さん」などというニックネー 記録のみを求めるどこにでもある 彼は結ぶ。この「機嫌がよいこと」 も消極的だどいうかも知れない。 味に溢れた性格を僕は導いものに ムが示す彼の細心な、しかし人間 ような山男であるよりはむしろ「 山族の体験から得たのに違いない 言葉が僕には壮阪な響きを以つて一

一異り、倫理と称して遺徳教育を実

つたにちがいない。本校は他校と 心得ぬ者共の態を決く思われなか 条生徒などを高所より見下すとは 道女、先生方、父兄それに卒業さ

非常識も甚だしい。 環場の教授も

施していることはあまねく世人も

知るところであるが、このような

態度はその裏付けに反するもので

わからない人のために、特別大 発音で / デスヨネ / を乱発される も、わかる人にはわかるはずであ で、二地方の方言が混つた独特の 東北から東京へ出て来られたのれない唇だけ開ける特異な笑い方 これを読んだら写真など見なくて

> ところの最高道徳、いわゆるモラ つけさせ、高等な宗教につながる

ロジーを教えてもいいのではない

て、あのていねいすぎる位のヒン 「を読めば、わからなかつた人は 人もいなかつたと思います。

答を募集し、正解者に賞品を進星 ?」が好評なので、次回から、解 している。詳しいことは次号をご ところで、この「ヤヤーハテナ 新聞局では、多数の応募を期待

かと思う

聞となりましたので、

M・一の松本君が入局されました としてH・一の水谷君が入局され によるものです)。又局員として ました。(今号の写真の多数は彼 今号より新聞局専属カメラマン

今後の活躍が期待されます。

睽解しているかも知れないし、又 'ないか。 夏だ。 丹波高原にひぐら | 倒れてなお幸福なのである幸福は ' はとにかく | 生懸命最善に生きて サービスのヒントを書いておこう それから二度見たら決して忘れら

きな事件に倫を発していうならば

ある。この小さな、そして反面で

倫理の時間とういつた種類の人間

して豊かな判断力、批判力を身に に対して、日常身近かな常識、そ

か。」と思いついた諸君が多いと る間にも、「なあんだ、あの先生 えるようなものだから、この辺で る。これ以上いうのは、解答を教 止めるとしよう。これを眺んでい

勢前回の解答は諸君の想像通り「 服部先生」でした。あの写真を見

> 後 記

を予定していた新聞が突然四面新 た。始めに述べました様に、六面 号として発行することとなりまし び致します。最初卒業記念特集骨 とまりのない新聞となつてしまい として六面の新聞を発行する予定 割付け場所の変換移動があり、ま でしたが、種々の理由により記念 今号の発行が遅れたことをお詫